

【LINEモバイル】 サービス開始3ヶ月の利用動向を公開

2016.12.21 ALL

ライトユーザーからヘビーユーザーまで、ユーザーごとの年齢や利用動向に適したプランが選択され、11月は「コミュニケーションフリープラン」の申し込み割合が6割弱まで上昇

LINEモバイル株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：嘉戸 彩乃）は、同社が運営するMVNO（仮想移動体通信事業者）事業「LINEモバイル」<https://mobile.line.me/>において、サービス開始3ヶ月（2016年9月5日～11月30日）の利用動向を公開いたしましたので、お知らせいたします。

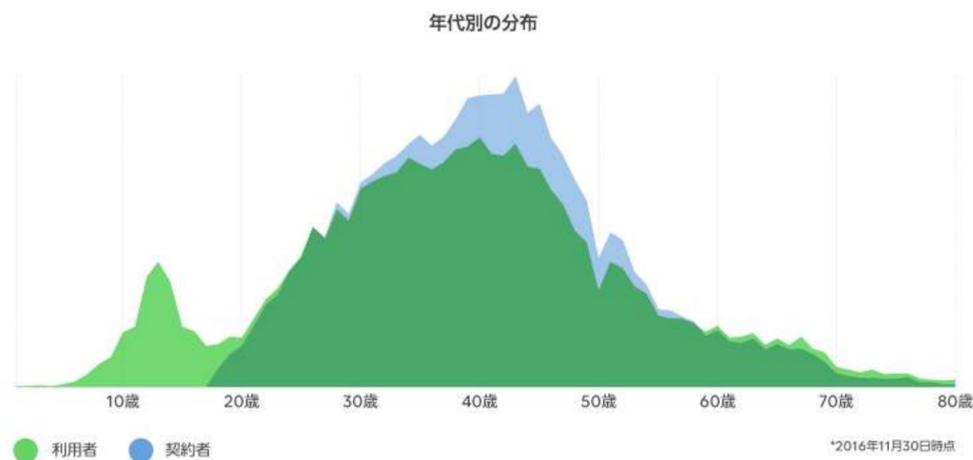
「LINEモバイル」は、2016年9月5日のローンチ以降、分かり易く、ユーザーごとの利用動向やニーズに適したプラン展開や、申し込みフローのシンプルさ、申し込み後、最速翌日～数日でSIMや端末が手元に届くスピード感などサービス運営面においても高評価いただき、多くのユーザーにご利用いただいております。また、11月22日より、販売チャネル拡大の一環として、「Amazon.co.jp」でのSIMエントリーパッケージの販売を開始し、「家電・カメラ」、「SIMカード」各カテゴリの新着ランキングで1位を記録するなど、順調に成長を続けております。

「LINEモバイル」

サービス開始3ヶ月利用動向

■契約者・利用者の年齢

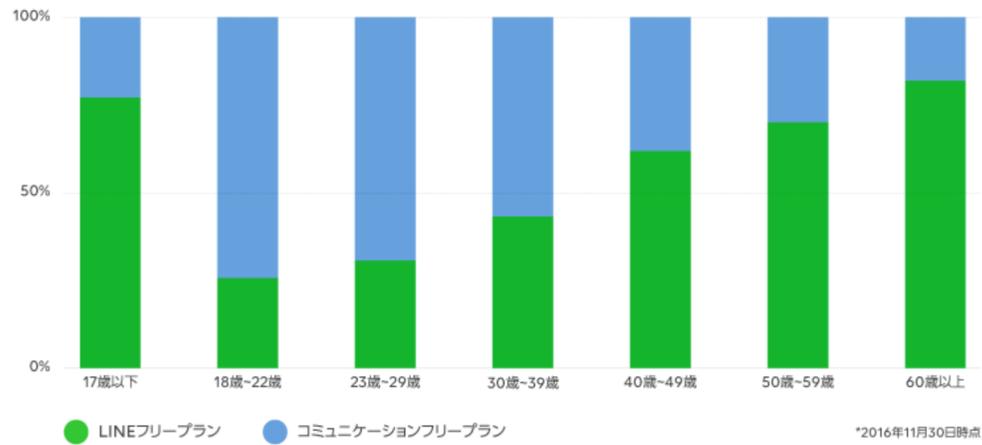
契約者と利用者の年齢分布では、契約者・利用者ともに30代後半～40代前半が多い傾向がある一方で、契約者は利用者と比較して10代～60代まで幅広く分布していることがわかります。自分が利用するスマートフォン以外に、周囲の人とのコミュニケーションツール＝ご両親やお子様を利用するためのスマートフォンとして「LINEモバイル」を契約いただいている層がいることを読み取ることができます。



■年代別の利用プラン

利用しているプランの割合を年代別にみると、10代および40代以降では、「LINE」のデータ使用量がカウントされず使い放題となる「LINEフリープラン」の割合が高く、20代～30代では、「LINE」に加えて「Twitter」、「Facebook」、「Instagram」が使い放題となる「コミュニケーションフリープラン」の割合が高い傾向となっています。ユーザーの利用動向に合わせ、「LINEフリープラン」は、初めてスマートフォンを持つお子様やシニア世代などのライトユーザー、LINE専用端末としての2台目端末として利用頂くユーザーに選択され、「コミュニケーションフリープラン」は、SNSをはじめ、スマートフォンの利用頻度の高いヘビーユーザーに好まれていることがわかります。

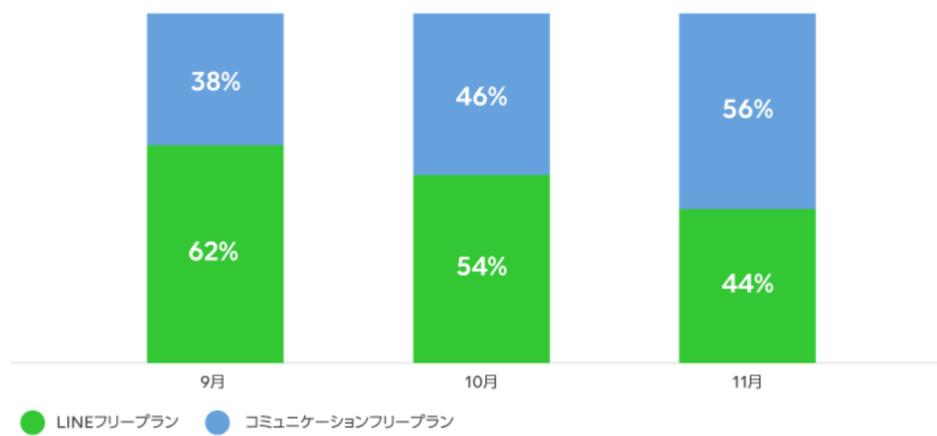
年代別の利用プラン



■プラン別申し込み比率

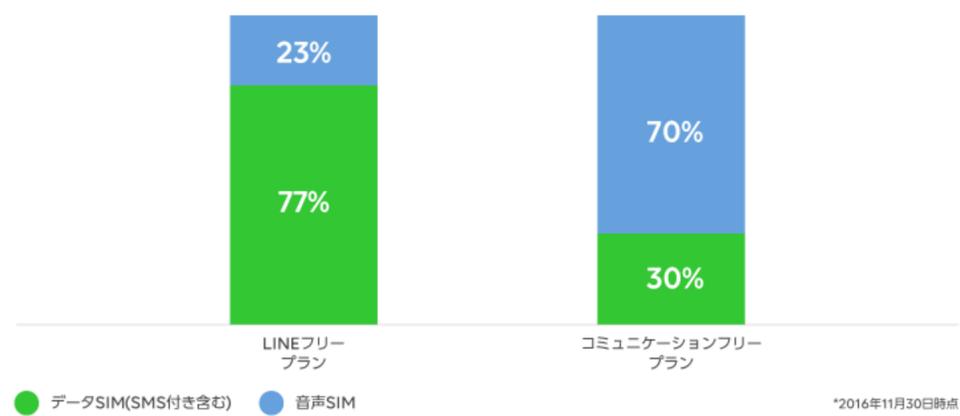
サービス開始以降、月別の申し込みプランの割合をみると、月を追うごとに「コミュニケーションフリープラン」の割合が増加しており、11月は6割弱まで上昇しています。

申し込みプラン比率



また、プランごとに「音声付きSIM」と「データSIM」タイプの申し込み数の割合をみると、「コミュニケーションフリープラン」契約者の7割が「音声付きSIM」を選択しており（2016年11月30日時点）、最近では、「LINEモバイル」をメイン端末として利用頂いているユーザーが増えていることが読み取れます。

プランごとの音声比率



「LINEモバイル」では、スマートフォンにおけるコミュニケーション環境を向上させ、ユーザーとモバイルの関係をより良く、快適なものとするを旨とし、LINEのミッションである「CLOSING THE DISTANCE」の実現を推進してまいります。